

概要 要:ごみ処理施設の整備にあたり、地震に強い建築設計、工法、安全対策を実施することで、震度6強の地震に対しても当該施設における大きな被害を防ぎ、ごみ処理の継続的な稼働を実現する。

対象名 : 76 一般廃棄物処理施設に関する対策 <5か年加速化対策> 【環境省】

■実施主体：小平・村山・大和衛生組合（圏域人口35万人）

■実施場所：東京都小平市

■事業概要：新たなごみ処理施設の整備にあたり、東日本大震災等の経験・知見を活かし、地震に強い建築設計、工法、安全対策を実施しており、大規模地震発生時においても施設の早期・継続的な稼働が可能となる。また、災害時には一時的な避難場所として活用可能となる。

<安全対策等の概要>

①構造設計では、3次元モデルでの構造解析により最適設計を行い耐震性・安全性の高い構造計画を実施。②外壁の落下防止では、押出成形セメント板を採用し、ロッキング工法を選定することで、地震時の外壁落下を防止（右図参照）。③プラント設備は、東日本大震災に耐えた施設と同一の設計震度（水平震度 $K_h=0.3$ ）で設計した耐震性が極めて高い設備の導入や、クレーン脱輪防止装置の設置、自動プラント停止システムを採用するなど施設の安全性の向上を図っている。

■事業費：約235億（令和2～6年度）

（うち、5か年加速化対策（加速化・深化分）約185億円）

■効果：東日本大震災等の知見を活かし、主に上記の安全対策等を行うことで今後の首都直下地震等の大規模災害発生時にも、ごみ処理が継続可能となり、環境衛生を確保することが期待される。また、災害時には一時的な避難場所としても活用可能であり、住民等の安全・安心に寄与することが期待される。



完成イメージ図（令和9年度竣工予定）



工事進捗状況（令和5年12月末）

